

第7回 東区 健康ウォーキングの つどいマップ

中山福祉センター前空地～大原神社～中山集会所～鏡が丘～稲生神社入口～中山貝塚～萬休寺～中山小学校～中山福祉センター
平成26年3月2日

町を美しく住みよい環境
みんなの力で

- 1.ごみを捨てない、汚物を流さない運動
- 2.歩くるかーの交通安全運動
- 3.歩くるかーの交通安全運動
- 4.その他町を美化運動

都市美化推進モデル地区
広島市公衆衛生推進協議会
東区 中山学区



休憩
7
萬休寺

休憩
中山集会所

青いルート
急坂や階段を避らないコース
「中山集会所」から別ルートで
「稲生神社」入口へ向かいます
(大原神社と鏡が丘には寄りま
せん)

スタート

ゴール

中山福祉センター

第7回東区健康ウォーキングのつどい&健康展

平成26年3月2日(日)

① 新宮大石灯籠

以前あった新宮社の参道を物語る灯籠である。新宮社は、明治43年(1910年)に稲生神社に合祀されて現在はない。明治元年を翌年に控えた慶応3年(1867年)に新宮社の参道に建てられ、高さは3mである。昔は周囲に人家もなく、歩いて大内越峠を通過して中山に出入りする者は、いつもこの灯籠を眺めていたと言われている。

② 頌徳碑

公共事業や神社仏閣に多くの貢献をした中山出身の土井四郎氏の善行を後世に伝えるため、昭和14年に建てられた。

③ 大原神社

別名を黄幡社(おんぼんさん)という。昔の中山は水害がしばしばあり、村を水害から守る神と信じられていた。明治43年(1910年)に稲生神社に合祀されたが、大正14年(1925年)に現在地に分祀された。昭和の終戦直後まで、八朔(旧暦8月1日)の夏祭りが賑わった。

④ 修業大師像

昭和6年、中山村一帯で腸チフスが流行し多くの村人が亡くなった。菩提を弔うため、九州日田の石工が彫った大師像が安置された。

⑤ 稲生神社

中山のほぼ中央に位置する鏡山にあり、地区の鎮守である。創建は明らかではないが、寛政12年(1800年)に再開された。祭神は穀物の守護神である。毎年例祭日の1週間には、町内各家を回って身を清め、町全体が清らかな地域となって祭りを迎えるという昔ながらの獅子舞の行事が行われている。

⑥ 中山貝塚

約2000年前の縄文時代晩期や弥生時代の生活の名残りである。昭和33年に日本考古学協会によって発掘調査が行われ、東西20m、南北80m、深さ1.5mほどの大きさの貝塚であることがわかった。この辺りは標高10mであるが、かつては広島湾がすぐ近くまで入り込んでいて、温品川の河口に近い低湿地であったと推測されている。

⑦ 萬休寺

浄土真宗大谷派(東本願寺)の寺院である。寺号のみの廃寺になっていた萬休寺が、明治10年(1877年)に広島市大手筋から現在地に移った。明治12年(1879年)からは、地区内唯一の寺院として村民によって守られ、信仰を集めている。昭和20年(1945年)の原子爆弾投下の際は、爆風が大内越峠から吹き、本堂や鐘楼門も大きな被害を受けた。

参考資料：なかやま散歩道ガイドブック、なかやまの散歩道ぐるーりとひとまわり、二葉公民館ホームページ

主催 東区公衆衛生推進協議会 ・ 財団法人広島市未来都市創造財団 二葉公民館

東区スポーツセンター ・ 東区厚生部健康長寿課